

第 15 回 ライフエンス学術研究大会 一般演題

演題番号：

演題名： 文部科学省委託事業・認知症専門鍼灸師育成プロジェクト

所属・氏名：学校法人後藤学園ライフエンス総研中医学研究所 兵頭明、齋藤隆裕、猪狩賢二、鎌田剛、渡辺明春、太田祐志

【目的】

認知症の人およびそのご家族を支えることができる認知症専門鍼灸師の育成

【方法】

- ① 1741 市区町村に対する認知症対策アンケート調査(自治体のニーズ調査を含む)
- ② 鍼灸師養成施設における認知症教育実態調査(教材に関する要望調査を含む)
- ③ 西洋医学系・介護福祉系・鍼灸医学系 3 分野連携による認知症患者対応型モデル教材・DVD 教材の開発

【結果】

- ① 認知症にかかわる各種療法の認知度調査、期待度調査結果

今回の調査からは、認知症の予防、治療、ケアに関連して市区町村担当者レベルでは鍼灸マッサージの役割はほとんど認知されていないことが明らかになった。しかし認知度が低かった「鍼灸」あるいは「マッサージ」ではあるが、「大変期待する」「期待する」を合わせると、50%近くの自治体が認知症に対する鍼灸マッサージ治療に期待を寄せていることがわかった。

- ② 鍼灸師養成施設における認知症教育実態調査結果

認知症に関する現状の授業時間は、6 時間以上が 30%、3～5 時間が 22%、3 時間未満が 48% であった。約 50%が 3 時間未満であり、卒前教育での時間数が少ない事がわかった。また、認知症に特化した教材・動画教材に対する要望としては、症例や具体例の必要性、認知症についてまとめた DVD 教材の要望が記述式回答で多数見られた。

- ③ 西洋医学系・介護福祉系・鍼灸医学系 3 分野連携による認知症患者対応型モデル教材・DVD 教材の開発

・認知症患者対応型モデル教材の開発

西洋医学系・介護福祉系・鍼灸医学系の 3 分野連携のもとで認知症の人に対する医療・介護連携型の中核的鍼灸専門人材育成のための教育プログラムを策定し、3 分野が一体となった各分野横断型のモデル教材開発を行った。

・認知症患者対応型 DVD 教材の開発

認知症専門鍼灸師を大々的に育成することを目的として、本モデル教材の IT 化をはかり、特に実技系（実地研修系）の動画を活用した卒前教育および認知症専門鍼灸師のスキルアップ、キャリアアップを多面的に支援する学習支援環境の整備をはかった。

【文部科学省委託事業・継続事業】今後の取り組み

- ・認知症患者対応型モデル・DVD 教材の一般公開(e ラーニング化)
- ・鍼灸医療系教員のための認知症セミナー開催
- ・症例集積&分析
- ・認知症者に対する鍼灸治療による RCT 臨床研究

キーワード：認知症教育、認知症専門鍼灸師育成、卒前教育、卒後教育